

としょかんだより 7月号

令和8年7月
飯山満小学校
図書館

もうすぐ夏休みが始まります。長い休みは読書にぴったりの時期です。
時間を上手に利用して、今まで読んだことのない長編の物語やシリーズ
の本にも挑戦してみてくださいね。



<7月のめあて>

どくしょかんそうぶん か ほん さが
読書感想文を書く本を探してみよう

夏休みの読書感想文の宿題、皆さんは本をどのように選んでいますか？「読書感
想文は本選びで決まる！」とも言われています。7月中の図書の時間はぜひ「読書
感想文を書くための本をじっくり選ぶ時間」として使ってみてはいかがでしょうか。
本を選ぶときのポイントは、以下の3つです。

- ◆自分の読書レベルに合った本を選ぶ（ページ数、内容のむずかしさなど）
- ◆自分の興味に合った本を選ぶ（動物が好き？食べ物が好き？）
- ◆自分だったらどうするだろう？と、考えられる本を選ぶ
（主人公と年齢が近い、共感できるところがある、など）

図書館では今、特設コーナーをつくって、読書感想文を書くのにおすすめの本を
たくさん紹介しています。「この本なら読書感想文が書けそうかも！」と思える一冊
を、ぜひ探してみてください。

蔵書点検が終わりました

図書館では今年度も蔵書点検を行いました。今年は12冊の
本が行方不明でした。各教室の学級文庫に紛れていることもあり
ます。見つけた人は図書館まで持ってきてくださいね。



夏休み前の貸し出しについて

＊図書室の開館期間：7月16日（木）まで

＊借りられる冊数：一人5冊まで

期間中に読み終わった本は、借り替えることもできます。



家族の新しい読書の習慣－「うちどく」をしてみよう。

家読（うちどく）とは、「家庭読書」の略語で2006年に提唱されま
した。「家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深
める」ことを目的にした、読書推進運動のひとつです。



《おうちの方へ》

「うちどく」に特別なルールはありません。家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本
について話す。これが基本です。「うちどくの日」を決めたり、同じ本を回し読みした
り、読んだ本をノートに記録したり、子どもたちが考えたうちどくの約束を参考に家族
みんなでルールを決めてはじめてみるのも良いでしょう。同じ本をみんなで読めば、会
話もいっそう弾みます。また、お互いに本をすすめあう、家族そろって本屋さんで本を
選ぶなど、読む本について相談しあうことでもコミュニケーションが生まれます。

（「トーハン ホームページ」より引用）

おうち時間の過ごし方のひとつとして、家族みんなで読書を楽しむ「うちどく」
タイムを取り入れてみてはいかがでしょうか。

夏休みは、市立図書館に行きましょう！

夏休み中、船橋市内の市立図書館に行ってみましょう。小学校の図書館にはな
い、たくさん本に出会えると思います。図書館の資料を活用して、調べ学習をし
てみるのも楽しいですよ。貸し出しカードは、市内の図書館（中央・東・西・
北・公民館図書館など）どこでも利用することができます。ぜひ
おうちの人といっしょに行ってみてください。

